

応用生命科学科教育目標

応用生命科学科は、分子生物学、遺伝子科学を含めた生命情報科学を基盤とし、医薬学と工学の学際領域である医用生体工学、細胞培養技術のフロンティアを指向する細胞工学、さらに人間と自然の共生を目指す生命環境科学を中心とするニューバイオテクノロジーを応用領域とし、教育研究にあたる。これによって、持続可能な人類社会の構築に貢献できる人材の育成を目指す。

導入教育：

各専門分野の教員によるライフサイエンスの導入教育を行い、ライフサイエンス分野において知識・技術と倫理を礎とする実践者であることへの理解と、人材としての自覚と主体性を培う。

教養（総合）教育：

人類社会に貢献するための教養と知識を習得し、洞察力と判断力を磨く。またコミュニケーション手段としての外国語を身につける。

専門基礎教育：

数学、物理化学の基礎知識に習熟すると共に応用による問題解決力を磨き、ライフサイエンスにおける情報処理能力と英文読解力を身につける。

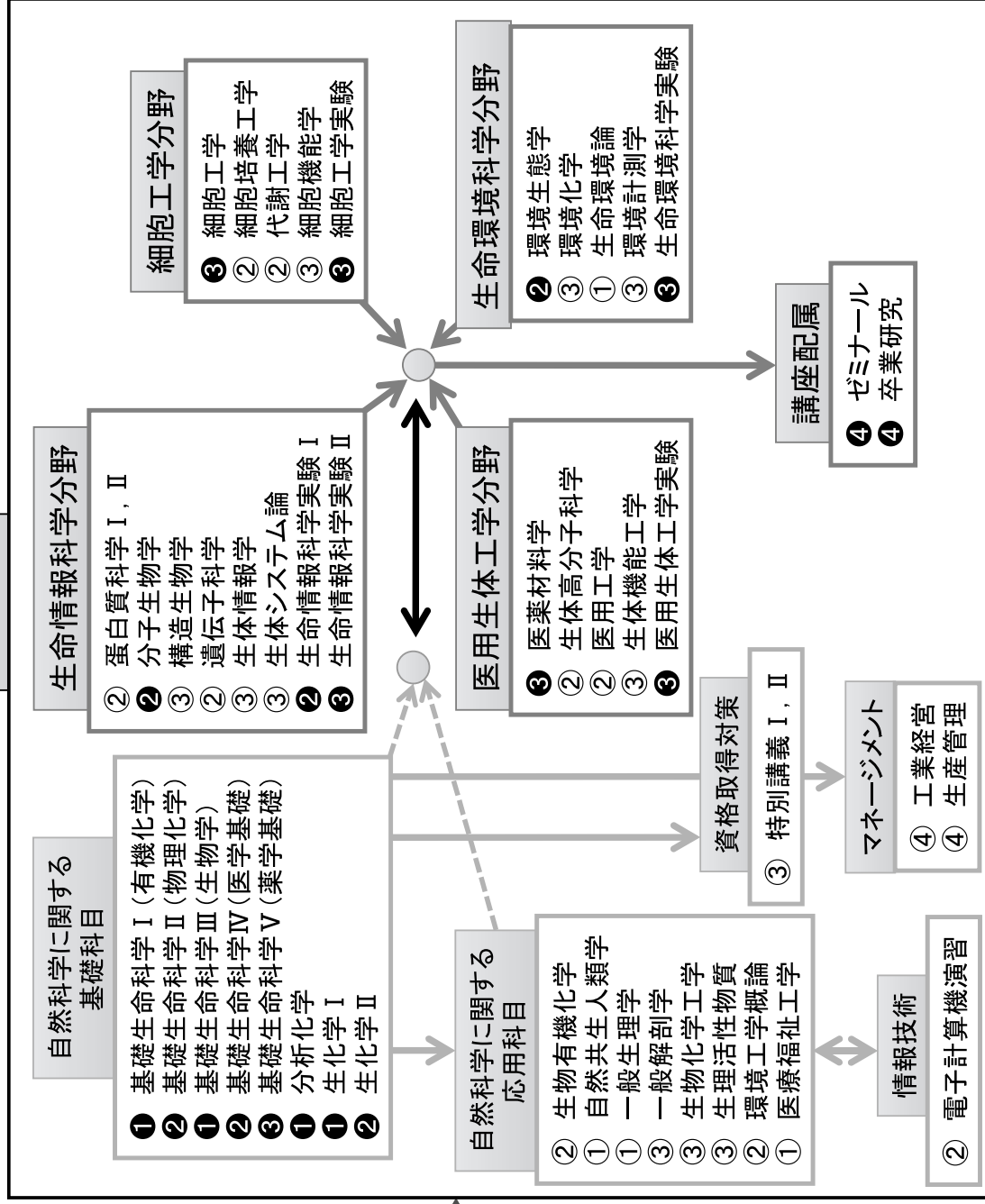
専門教育：

ライフサイエンスの専門知識に習熟し、本質を見抜く探求・考察力と論理の展開力を身につけた実践者を育成する。

教養(総合)教育

- 人間科学科目
人間と文化
人間と社会
自然と人間
健康・スポーツ科学
外国語科目
共通科目
① 総合科目Ⅱ
教職関連科目
教科に関する科目(理科)

専門教育

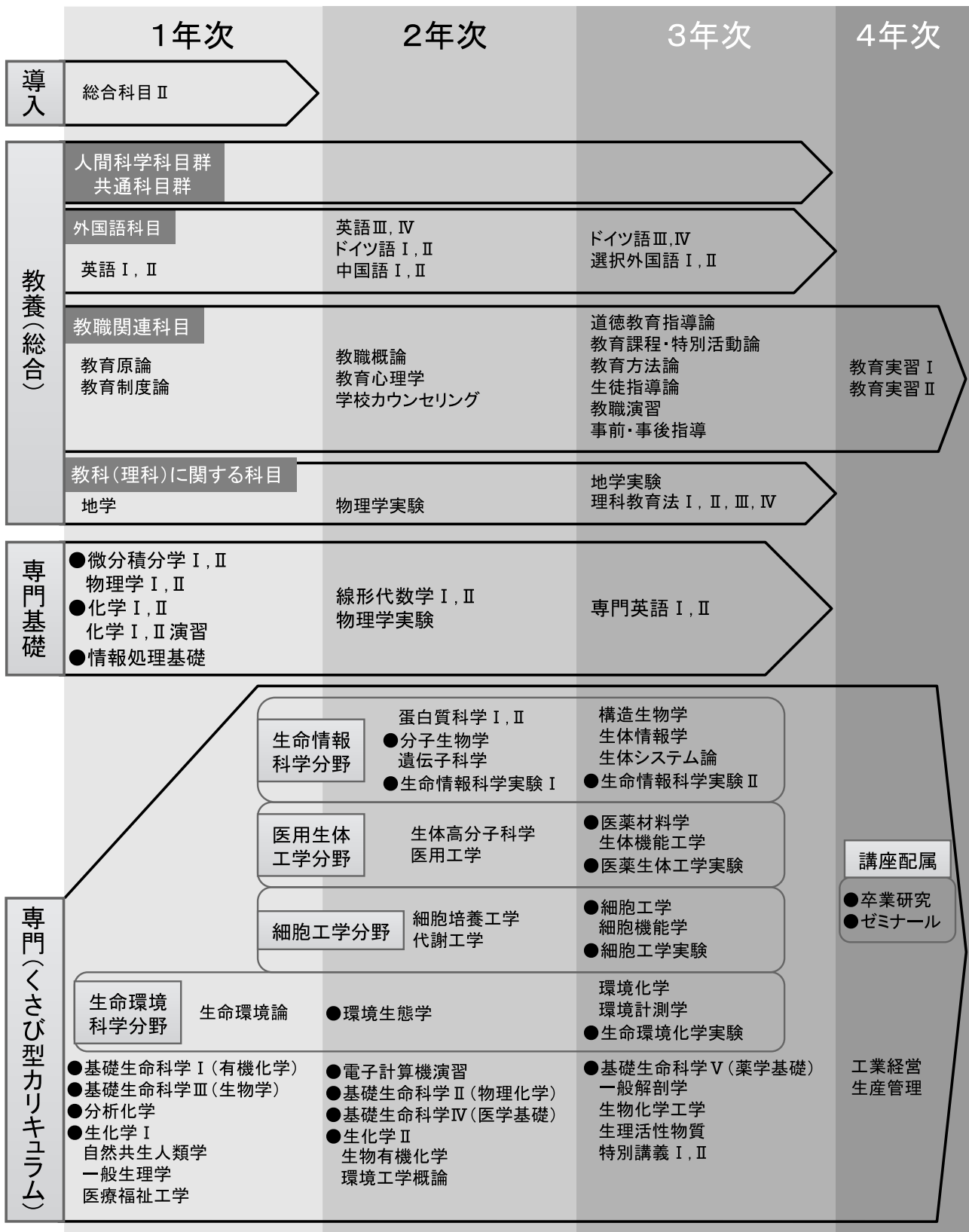


専門基礎教育

- ① 微分積分学Ⅰ,Ⅱ
- ② 線形代数Ⅰ,Ⅱ
- ① 物理学Ⅰ,Ⅱ
- ② 物理学実験
- ① 化学Ⅰ,Ⅱ
- ① 化学Ⅰ,Ⅱ演習
- ① 情報処理基礎
- ③ 専門英語Ⅰ,Ⅱ

太字は導入教育科目
●:必修科目(数字は開講年次)
○:選択科目(数字は開講年次)

崇城大学 応用生命科学科 コア・カリキュラム



崇城大学 応用生命科学科 科目履修の流れ ●:必修科目